

平成29年度 第1回久留米市有線放送運営委員会 会議録

日時	平成29年7月26日（水） 10時00分～11時20分
場所	田主丸総合支所2階 201会議室
出席者	大熊委員、石井（秀）委員、草場委員、小林委員、鬼木委員、原委員、中野委員、秋山委員、西野委員、木下委員、石井（陽）委員 以上11名
事務局	井上支所長、谷川次長、久次主幹、出田補佐、國武主査、稲富、佐藤
傍聴者	なし

次第	内 容 等	
1～3	進行 事務局	1. 開会 2. 委員紹介 3. 委員長及び副委員長選出
	進行 委員長	委員長による進行
4 報告 事項	事務局 〔説明〕	(1)有線放送事業の概要について (2)有線放送事業に係る経費 年度別比較について (3)有線放送設備の雷被害と対策について
	委員①	2点お訊ねする。1点目は、4頁の有線放送の実績について、臨時放送は消防関係のN T T回線を経由した防災無線からの放送なのか。 また、臨時放送の「その他」27件は何か。 2点目は、5頁の下「苦情相談件数」の内訳、支柱やケーブルの撤去の数とその対応はどうなっているか。
	事務局	臨時放送について、概略図で示す消防署から防災無線を通して行う放送は火災放送だけである。臨時放送については、本体設備から放送で行っている。 また、「その他」の内容については、行事等の中止や延期の放送である。 5頁の「苦情等の内容」は、内訳の集計を行っていない。雑音等の対応が6割程度である。支柱やケーブルの移設等はその都度対応している。不通や雑音については、原因がケーブルであったりするため、取替えなどの対応は保守業務委託の中で行っている。
	委員①	臨時放送に消防の放送は含まれていないのか。消防署からの臨時の放送は有線放送を活用して行うことはあるのか。
	事務局	火災放送は、平成28年度の4月から対応が変わり、平日の日中については臨時の火災放送を有線放送で行っている。この表では1件となっている。
	事務局	以前、平成27年度までは消防署から無線で放送をやっていた。消防署から消防活動に専念するということで、無線による放送を行わないこととなった。そのための平日の勤務時間中は有線放送で対応している。

	委員①	災害が起こる場合には、有線放送を活用して避難情報の発信など、どう対応されているか。
	事務局	耳納連山があり、山間部は土砂災害の危険もある。避難所が設置されたときは、時間帯問わず朝や夜であっても放送を行う。また、梅雨時期は、注意報が出た段階で情報収集体制をとっている。
	委員②	水分校区では、石王樋門を閉めたので、西小田や立野の道路や田んぼが冠水した。樋門を閉める場合は、水分校区だけでも災害の有線放送ができるのか。今回、車が3台ほど浸かった。先日、水分校区で自主防災会議を行ったが、家族や住民の命を守ることが最優先である。校区で決めているのが、石王の区長が近隣の区長に連絡するということ。出来れば、屋外の放送や有線放送を使えないか。
	事務局	今回の大雨の関係は、田主丸地域内で何箇所も冠水している。地元や消防団も対応してもらった。有線放送が何のためにあるかを鑑み、できるだけ活用したい。大雨の検証をさせていただいて調整したい。
	委員②	A市のB地区では屋外の放送を使っているとのこと。短時間での集中豪雨により、危険である場合は、屋外や有線放送で流してほしい。人命が大事なので是非お願いしたい。
	事務局	水防関係については、今回の教訓を生かす必要がある。水防計画の見直しをかけながら市民の安全を確保したい。
	委員③	今回の大雨では、避難指示がでたが、強制力はあるのか。全域に出ていたが避難所の受入は可能なのか。また、自主避難所の場合と変わらず従事者2名であったのか。自治会長や住民の方からの今回の避難指示に関する意見はなかったか。
	事務局	今回2段階で避難勧告・指示が出ている。土砂災害区域については早めの避難所設置となった。その後、大雨について全域の避難指示。各小学校区に2ヶ所、小学校とコミセンに開設された。理論上、全員がくればキャパもない。今回は取れる措置を取ったとご理解いただきたい。 土砂災害区域外の校区についても、避難所の開設を求める声も多くあった。本庁との防災対策テレビ会議の中で避難所の設置を要望したところである。大雨特別警報発令の対応は避難指示と規定していたことから、久留米市全域の対応となった。
	委員④	避難情報の発信のタイミングが重要だと感じた。有線放送が大切だと感じた。
		※他に質疑・意見はなし
5 協議 事項	事務局 〔説明〕	有線放送施設に関するアンケート調査の実施について
	委員③	自治会はどの程度あるか。設置は無料か。
	事務局	自治会は113ある。そのうち107にアンプを設置している。設置は無料である。
	委員②	8月から9月にアンケートを行うということであるが、早いうちに行うべきではないか。水縄や竹野は土砂災害の危険があり、その他の区域も時期的に台風の対策が必要になる。自治会の状況を早く把握してほしい。前回調査が21年度で、今回29年度まで行われていないので、3年間隔くらいで行うべきではないか。

事務局	アンケートの時期については、校区ごとに調整させていただきたい。出来るだけ早くという意見に沿って調整したい。 アンケートの頻度については、一定の期間で比較できるようなデータを持つことは、今後のあり方などの具体的な活用状況を把握するために有効である。前向きに検討させていただく。
委員③	8月9日にまち連絡会議がある。水縄が代表であり、相談してみてもどうか。
事務局	水縄校区（7校区の代表）に相談して進める。
委員⑤	アンケートの（6）は、今後有料になるととれる質問となっているが、これば外すべきではないか。
事務局	これまでの委員会の意見を踏まえ、削除させていただく。 アンケート調査については、平成28年度の有線放送運営委員会の中で、平成29年度は調査を予定していた。H30年度に諮問予定で、そのための有効な資料と考えている。
委員③	委託料の中で何が一番多く予算がかかっているか。
事務局	大きく、一般保守業務委託が560万円、建替え等の委託料で500万円、大きな内容としてこの2点に分けられる。
委員③	現在、世帯は何世帯か。維持管理分を世帯で割るといくらか。
事務局	平成29年3月末時点で6,800世帯。
事務局	維持管理の歳出で1,400万円、歳入で200万円、差額の1,200万円を約6,000世帯で割ると、年間2,000円になる。
委員③	廃止は抵抗ある。住民が8割がた要らないとあれば考える。即効性がある有線放送は防災においても有効である。やはり継続してもらいたい。久留米市全域にも広げてほしい。市議会でもでていないのか。
委員⑤	過去において市議会でも予算決算の中で質問があった。防災無線は屋外で雨風で屋内にいるときなど聞こえない、屋内だと聞こえる。防災のためには有線が有効といえる。ある地域はそのまま維持し、市内に広げるべきとは発言している。
委員②	アンケートは、自治会長がどれくらい利用しているか把握することは必要。 有線放送が継続されるよう予算を確保していただきたい。各世帯には自治会費の負担をお願いしているが、様々な問題が生じている。校区足並みが揃ってないということもある。その中で有線の負担を増やすことは難しいと思われる。
事務局	基本的に有線放送事業をなくすということは議会でも出ていない。しかし、運営の仕方については、行政改革の面も考慮し、今後考えていかなければならない。今後、費用対効果などを踏まえ、運営委員会の中で検討していただきたい。
委員④	田主丸には有線放送が定着している。有線放送がないと不自由でないか。
委員①	一住民としては、住んでいる地域は、地域の住民同士のつながりを十分に持たれている地域である。有線放送がないということについては、特に不自由は感じない。 今後の運営について、C市のほうでは、無線で放送がされている。今後、様々な伝達の方法の検討を進めるべきと思う。

	委員③	委員①のお住まいの地区では、自治会の伝達方法はどのようにされているか。
	委員①	自治区の中に自治会長や自治員がいる。口頭や書面（回覧板）で各世帯へ伝達される。
	委員②	水分校区のある自治会では、毎月始めに、行事予定を放送している。自治会行事の出席率が高い。回覧ではなく有線だからではないかと思う。伝達手段として有効である。
	委員⑤	事業開始５２年経過している。無線と有線、無線のほうがメンテナンスや経費の面では利点は多いと思う。今まで柱建替えを実施してきた経過を踏まえ、検討していく。室内のスピーカーは維持すべきであり、市全体として考えていく。
	委員③	防災無線の数は何基か。その利用状況は。
	事務局	２０基ある。
	委員⑥	校区で３基程度あり、田主丸は２０基である。 建物火災や林野火災の際には、防災行政無線（同報系）を利用した屋外スピーカーからのサイレン吹鳴を行っている。また、田主丸地域には、公共施設等には、防災行政無線（デジタル移動系）も整備されていると思う。 Ｃ市では、有線放送は廃止しており、防災行政無線で発信している。催し物など流れている。個別受信機が各世帯にあり、屋外にも設置している。
	委員③	屋外の放送は屋内には聞こえない。
	委員②	消防署は火災の際、サイレン吹鳴のみではなく火災の場所は知らせなければならない。
	委員⑥	サイレンは現在も行っており、消火活動を優先するため 消防団の召集もメールやホームページで場所の周知は行っている。
	委員⑦	有線放送の有効性を各校区や自治会が考え、放送依頼の団体などにも広く知っていただき、各校区の意見等をもらうべきだと思う。
	事務局	今後については、委員の皆様の意見を踏まえて検討を進めていく。アンケートについて、後日でも意見があれば事務局に連絡いただきたい。
6 その他	委員長	議事録署名人を指名。
7 開会	委員長	閉会